



愛をありがとう。

月光の囁き

Moonlight Whispers 塩田明彦監督作品 水橋研二 つぐみ 草野康太 関野吉記 藤村ちか 相沢しの 真梨色ケイ(特別出演) しみず露子(特別出演) 井上晴美
 製作総指揮:中村謙哉 企画:吉田達、菅宜次 プロデューサー:根岸洋之、中村聡 原作:喜国禮彦「月光の囁き」(小学館「ヤングサンデー」掲載) 脚本:塩田明彦、西山洋一 音楽:本多信介 音楽プロデューサー:石川光 主題歌:「運命の人」唄 スピッツ(ポリアル)
 撮影:小松原茂 照明:石丸隆一 美術:安宅紀史 録音:坂上賢治 編集:菅野善康 助監督:久保朝洋 ラインプロデューサー:大里俊博 製作協力:バズ・カンパニー 製作:日活 配給:ビタース・エンド 1999年・35ミリ・100分・ビスタ

PG-13

原作◎喜国雅彦「月光の囁き」
 (小学館「ヤングサンデー」掲載)
 主題歌◎スピッツ「運命の人」(ポリドール)
 一九九九年ロカルノ国際映画祭
 コンペティション部門オーブニング作品
 トロント国際映画祭正式出品作品

月光の囁き

塩田明彦監督作品

1999年/35ミリ/モノラル
 ビスタ/100分
 製作:日活株式会社
 http://nikkatsu.com
 配給:ヒタース・エンド

「君のためなら死ぬる」
 昔のマンガの有名なセリフです。その登場人物に限らず、恋愛中は心底、こういう気持ちになるし、実際そのセリフを口に出して言う人もいます。しかしそこで、「じゃあ、死んでみて」と答えられる人はいるでしょうか? たとえ嫌いな相手でも、それは重大な決心が必要です。
 この話はそのセリフを言うための2人の少女の成長物語(?)です。
喜国雅彦(原作者)

SM?足フェチ?
 でも、自由で純粋。
 究極の愛の形を探す
 青春映画が、
 ここに誕生する!

高校三年生の夏、好意を寄せあいつつ、同じ剣道部の仲の良い友人としてふるまい続けてきた、北原紗月と日高拓也は、ちよつ

としたきつかけからようやく想いを通いあわせた。自転車二人乗りでの登校、図書室でのデートと夢見ていた普通の交際には、はしゃぎ紗月。一方、拓也はそうした普通の恋愛では満たされない想いを、秘かに紗月の身の周りの物を使ったティッシュ、ブルマーそしてルーズソックスなどを集めて慰めていた。そんな拓也の行動を知った紗月は戸惑いながらも、強く反発し始める。しかし、嫌えば嫌うほど、いじめればいじめると、マゾヒストの拓也はひたむきに紗月への想いをつららせてゆく。

「俺は紗月の犬になりたい。紗月のためやつたらどんなことでもできる」
 いつしか、拓也の歪んではいるが純粋な愛に無意識に影響され、普通の恋愛を夢見ていた紗月までもが、拓也へのやり場のない愛と、それ故の復讐に燃える紗月。

変態とのしられても、誰にも見せられない本当の自分の姿を紗月の前でさらけ出す拓也。不器用に傷つけ合う二人の愛は、すれ違いながらもながらも純粋さを増して突き進む。今までのどんな青春映画のお約束もすすり抜け、誰も到達できなかった究極の愛を目指して!



草野マサムネ(スピッツ)
 たいていの人は自分て「フツウの人」であることを前提に生活しているんだけど、その観念のローブがほどけた時にこそ、至上の悦びが得られるんだと思う。幸せのカチは単純ではないのだ。この映画は僕のような思春期ひきずつてる男は必見ですね。痛みをともなう開放感と不思議なノスタルジー。役者も凄く良いと思いました。



漫画版、
 谷崎潤一郎。

先鋭的ギャグ漫画家として人気の喜国雅彦。彼が新境地に挑んだ、初のシリアス漫画「月光の囁き」が本作の原作となっている。

「マンガで谷崎潤一郎をやったか」と自身がコミックスのあとがきで語るように、美しい女と彼女に隷属することで喜びを得る男を主人公に、女性の肉體、特に足に対するフェティシズム、マゾヒズムといった要素が盛り込まれた谷崎の世界を、現代に無理なく再生させた奇跡的な作品である。

こうした漫画の枠を飛び越した、日本の純文学が放つエロスの香気と、原作者の故郷、高松の方言を受け継ぎ、映画「月光の囁き」は誕生する。

犬として踏みこみ、雨の中で飼い主を待つように佇む恋越しに、そして手足を縛られて閉じこめられた嵐の中で交わされる紗月と拓也の視線など、原作の持つエロティシズムが新たな驚きを持って映像化されている。

「月光の囁き」をめぐる
 「運命の人」たち。

究極の絆をめぐる青春映画ともいえる、この作品で劇場映画監督デビュー

を果たすのは、すでに本作で、九九年ゆうばり国際冒険・ファンタスティック映画祭の審査員特別賞と批評家賞をダブル受賞した塩田明彦。主演の日高拓也役にはNHKハイビジョンドラマ「水の中の八月」で「富江」ほか数多くの作品で活躍する水橋研二、北原紗月役には「ねじ式」での好演も記憶に新しい、つぐみ。この二人のどんな場面であつても日常からかけ離れることのない演技は「月光の囁き」に圧倒的ななりアリティと緊張感を与えている。二人を支える他出演者は、紗月に好意を寄せる剣道部の爽やかな先輩、植松役の草野康太。拓也の親友マルケン役、関野吉記。紗月の剣道部の友達を演じる藤村ら。紗月の姉を演じる井上晴美。

そして忘れてはいけないのが、本作に主題歌を提供してくれたスピッツ。「運命の人」の爽やかでありながらも、歪んだ解釈のできる歌詞は「月光の囁き」の世界を歌ったかのように、塩田監督が脚本を書きながら繰り返し聴いていたスピッツの曲が、歪みながらも純粋な愛の物語を切なく包みこんでゆく。



1月22日(土)から2月4日(金)までロードショー上映!!
 12:40/2:40/4:40/6:40

前売特別鑑賞券1400円にて各プレイガイドにて好評発売中
 ♡当劇場にて前売特別鑑賞券(1400円)をお買い求めの方に、喜国雅彦描き下ろしイラスト入り「フェティッシュ」&「月光通信」(テキスト=ミルクマン斉藤、山口哲一、大森望)をプレゼント!(数限有)
 ♡初日先着100名様に喜国雅彦描き下ろしイラスト入り「フェティッシュ」プレゼント!

塩田明彦監督作品
 「どこまでもいこう」
 1月22日~2月4日
 モニタリングショー上映!
 2月5日~2月11日
 ロードショー上映!



(当日一般=1700円/当日学生=1400円)

ホワイティ梅田泉の広場M-10右 upper 東へ5分
扇町ミュージアムスクエア
 ☎06-6361-0088 www.oms.gr.jp